

子供が輝く東京・応援事業

令和6年度 事業報告書



令和7年3月

 公益財団法人東京都福祉保健財団

目 次

1 事業概要	4
2 令和6年度実施状況	6
3 助成対象事業成果報告書	11

<定額助成（新たな取組へのチャレンジ）> 【令和4年度採択事業】

◇妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援

01. 一般社団法人はじめのいっぽ 〔「制度のはざま」にいる親子が一歩踏み出すための、子育て支援シェアリングサービス。〕	14
---	----

◇多世代交流や地域との連携等による子育て支援

02. 特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 〔WAKUWAKUおせっかえる活動～地域がつながる「おせっかいの循環」の仕組みづくり～〕	16
03. 特定非営利活動法人dattochi home 〔あそび場だっとち事業〕	18
04. 特定非営利活動法人読み聞かせネットワークヒッポ 〔本でつながる！本で笑顔に生きる！子育て応援プロジェクト～すべての子どもたちのために〕	20

◇病気や障害等を抱える子供への支援

05. NPO法人エゴノキクラブ 〔小児がんの子どものリーダーシップ育成事業〕	22
--	----

◇学齢期の子供に対する各種支援

06. NPO法人プログラミング教育研究所 〔学習支援団体に対するプログラミング教室開催サポートとプログラミングコンテストの実施〕	24
07. 特定非営利活動法人日本セクシュアルマイノリティ協会 〔子どもへの継続的な啓発を行うための教職員向けツールの開発と体制構築〕	26

◇若者が社会的に自立した生活を営むための支援

08. 特定非営利活動法人One step音楽スタジオ 〔生き甲斐作りを探しながら、地域であたりまえに楽しく生きるための自立支援事業〕	28
--	----

【令和5年度採択事業】

◇妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援

09. 公益社団法人東京都助産師会 〔パパ向け伴走型支援～「育休、取って良かった!」を目指して～〕	30
--	----

◇多世代交流や地域との連携等による子育て支援

10. 一般社団法人TOKYO PLAY
〔とうきょうご近所みちあそびプロジェクト〕 32
11. 特定非営利活動法人Chance For All
〔あそび場100か所構想！～すべてのこどもたちが、自分の意思でアクセスできる自由なあそび場作り～〕... 34

◇病気や障害等を抱える子供への支援

12. 特定非営利活動法人膠原病・リウマチ・血管炎サポートネットワーク
〔子どもの未来を切り拓く～膠原病移行期の親子並行交流プログラム〕 36
13. 特定非営利活動法人芸術家と子どもたち
〔障害児による創造的体験の場づくりと施設間交流によるネットワーク形成〕 38
14. 特定非営利活動法人つばめの会
〔保健師および療育保育支援担当者に向けた偏食少食児への支援対応法の研修〕 40
15. 特定非営利活動法人渋谷なかよしぐるーぷ
〔暮らしに困難さを抱えた子どもたちの居場所活動から地域、人とのつながりをつむぐプロジェクト〕 ... 42

◇社会的養護に係る取組

16. 特定非営利活動法人町田フレンズサポート
〔移動駄菓子屋「ともだちひろば号」買い物体験事業〕 44

◇学齢期の子供に対する各種支援

17. 特定非営利活動法人キッズドア
〔在日外国人との異文化交流プロジェクト「English Drive Well-Being」〕 46
18. 特定非営利活動法人子育て・子育て支援タグボート
〔防災体験学習「たき火の学校」事業〕 48
19. 一般社団法人ANDMAMACO
〔すべての子どもが素晴らしい体験教育を受けられる社会に〕 50
20. 特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
〔子どものウェルビーイング「小学校向け教材開発と授業実施の仕組みづくり」〕..... 52

<定額助成> 【令和6年度採択事業】

◇妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援

21. 公益財団法人社会教育協会
〔自分や相手を大切にすることってどういうこと？ はじめてみよう包括的性教育〕 56
22. 特定非営利活動法人ちいきむすび
〔妊娠から子育て期の親や子どもへの食事支援と調理方法指導と安心相談窓口事業〕 58

◇多世代交流や地域との連携等による子育て支援

23. 特定非営利活動法人バディチーム
〔居場所型との連携による家庭訪問型食支援等の協働実践〕 60

24. 特定非営利活動法人あなたのSOGIE 〔大人の孤立も子どもの孤立もうまいための連携づくり～いろんな人たちのフリースクール～〕	62
25. 特定非営利活動法人BOON 〔未来のソーシャルデザイナーを育てる ～ボランティア社会に向けた取組～〕	64
26. 一般社団法人おおたクリエイティブタウンセンター 〔多世代交流、子どもたちの居場所機能を併せ持つチャレンジスペースの運営「オープンらぼプロジェクト」〕	66

◇学齢期の子供に対する各種支援

27. 特定非営利活動法人日本教育再興連盟 〔ギフテッド傾向があり学校に馴染みづらい中高生に向けた居場所づくりと学びの支援活動〕	68
28. 社会福祉法人清遊の家 〔個性や多様性が尊重され、安心して過ごせる居場所づくり（就学児童対象）〕	70
29. 特定非営利活動法人ヒューマンケア 〔地域で子育て・親育ち事業「あるものを活かす」～できる人が・できるときに・できることを～ （不登校児の親子支援、シニアの生きがいの創出）〕	72
30. 特定非営利活動法人ケンパ・ラーニング・コミュニティ協会 〔インクルーシブカフェ（こどもの居場所事業）〕	74
31. 特定非営利活動法人3keys 〔地域支援では漏れやすい虐待・孤食の子どもたちへの食事支援〕	76

◇若者が社会的に自立した生活を営むための支援

32. 一般社団法人希望への道 〔非行・犯罪に関する悩みを抱える子ども・若者のための緊急保護、および包括的相談支援〕	78
33. 一般社団法人プレイキッズシアター 〔不登校児、学校に行き渋りの子どもたちの為の自己肯定感を育む表現ワークショップ〕	80

＜実績連動型助成（既存の取組のレベルアップ）＞
【令和5年度採択事業】

◇学齢期の子供に対する各種支援

34. 特定非営利活動法人いけぶくろ大明 〔こどもタウン・nobitek 起業・経営体験プログラム〕	84
---	----

4 参考資料

子供が輝く東京・応援事業助成金交付要綱	87
---------------------	----

1

事業概要

◆背景

現在、東京は、かつて経験したことのないほど急速に少子高齢化が進展しており、令和5年の合計特殊出生率は0.99と1を割り込み、全国最低となっています。

少子化の要因には、「未婚化・晩婚化」「初産年齢の上昇」「夫婦の出生力の低下」などがあると言われており、その背景として、結婚や子供を持つことへの価値観の多様化、子育てに対する負担感、不安定な就業状況など様々な要因が指摘されています。

子供を産み育てたいと望む人たちが安心して子育てし、子供たちが健やかに成長していく環境を整備することは、行政をはじめ社会全体が連携して取り組むべき課題です。

◆子供が輝く東京・応援事業とは

公益財団法人東京都福祉保健財団では、平成26年度に東京都が実施した「東京子育て応援ファンドモデル事業」を踏まえ、平成27年度より「東京子育て応援事業」を開始しました。

その後、平成29年度に行った事業検証を踏まえ、平成30年度より「子供が輝く東京・応援事業」として事業を再構築しました。

本事業は社会全体で子育てを支えることを目的として、都の出えん及び都民等からの寄附による「子供が輝く東京・応援基金」を活用し、NPOや企業等による結婚、子育て、学び、就労までのライフステージに応じた取組に対し助成を行うものです。

◆対象事業

少子化の要因を解消するための、ライフステージに応じた幅広い取組を支援します。



◆助成概要（令和6年度）

定額助成（新たな取組へのチャレンジ）		
対象者	都内に本社または事務所を有する法人 （法人格を有するなど一定の要件を満たす法人） 複数の法人や団体で構成される共同体による応募も可	対象経費 初期投資費用及び 事業運営経費
助成額	助成基準額1,000万円と助成対象として認められた経費と総事業費から 対象事業に係る寄附金その他収入を控除した額とを比較していずれか 低い額 （最大1,000万円を助成）	助成対象期間 ・最大3か年度 （令和4年度） ・最大2か年度 （令和5年度）
審査方法	書類・面接（プレゼンテーション）による審査を実施し、助成対象事業を決定	

定額助成		
対象者	都内に本社または事務所を有する法人 （法人格を有するなど一定の要件を満たす法人） 複数の法人や団体で構成される共同体による応募も可	対象経費 初期投資費用及び 事業運営経費
助成額	助成基準額1,000万円と助成対象として認められた経費と総事業費から 対象事業に係る寄附金その他収入を控除した額とを比較していずれか 低い額 （最大1,000万円を助成）	助成対象期間 最大2か年度 （令和6年度）
審査方法	書類・面接（プレゼンテーション）による審査を実施し、助成対象事業を決定	

実績連動型助成（既存の取組のレベルアップ）		
対象者	都内に本社または事務所を有する法人 （法人格を有するなど一定の要件を満たす法人） 複数の法人や団体で構成される共同体による応募も可	対象経費 初期投資費用及び 事業運営経費
助成額	助成基準額2,000万円と助成対象として認められた経費と総事業費から 対象事業に係る寄附金その他収入を控除した額とを比較していずれか 低い額に対し、成果に応じて1/4から3/4の助成率（定率1/4に指標の 達成状況により1/4～1/2を加えた率）を乗じた額 （最大1,500万円を助成）	助成対象期間 最大2か年度
審査方法	書類・面接（プレゼンテーション）による審査を実施し、助成対象事業を決定	



2

令和6年度実施状況

(1) 公募状況

◆スケジュール

〈定額助成〉

令和6年6月17日～7月10日 申請受付（90法人申請）

令和6年10月22日、25日 総合審査（プレゼンテーションによる審査）

令和6年11月6日 助成対象事業者決定（13法人）

◆選定結果

〈定額助成〉

妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援	2件
多世代交流や地域との連携等による子育て支援	4件
学齢期の子供に対する各種支援	5件
若者が社会的に自立した生活を営むための支援	2件

（法人別内訳）	
NPO法人	8
社会福祉法人	1
その他非営利法人	4

◆応募者の状況（参考）

〈定額助成〉

地域の資源等を活用した結婚支援	2件
妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援	16件
多世代交流や地域との連携等による子育て支援	17件
病気や障害等を抱える子供への支援	6件
社会的養護に係る取組	2件
学齢期の子供に対する各種支援	31件
若者が社会的に自立した生活を営むための支援	10件
分野未記入	4件
（対象外）応募期間後の消印のもの	2件

（法人別内訳）※端数処理の都合上構成比は必ずしも100%とはなりません。

NPO法人 60（67%）、株式会社 4（4%）、社会福祉法人 2（2%）

その他非営利法人 19（21%）、その他営利法人 3（3%）

対象外 2〔応募期間後の消印〕（2%）

(2) 助成金交付

◆助成団体数

〈定額助成（新たな取組へのチャレンジ）〉

【令和4年度採択団体】

妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援	1件
多世代交流や地域との連携等による子育て支援	3件
病気や障害等を抱える子供への支援	1件
学齢期の子供に対する各種支援	2件
若者が社会的に自立した生活を営むための支援	1件

(法人別内訳)	
NPO法人	7
その他非営利法人	1

【令和5年度採択団体】

妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援	1件
多世代交流や地域との連携等による子育て支援	2件
病気や障害等を抱える子供への支援	4件
社会的養護に係る取組	1件
学齢期の子供に対する各種支援	4件

(法人別内訳)	
NPO法人	9
その他非営利法人	3

〈定額助成〉

【令和6年度採択団体】

妊娠、出産、育児期における親や子供に対する支援	2件
多世代交流や地域との連携等による子育て支援	4件
学齢期の子供に対する各種支援	5件
若者が社会的に自立した生活を営むための支援	2件

(法人別内訳)	
NPO法人	8
社会福祉法人	1
その他非営利法人	4

〈実績連動型助成（既存の取組のレベルアップ）〉

【令和5年度採択団体】

学齢期の子供に対する各種支援	1件
----------------	----

(法人別内訳)	
NPO法人	1

◆助成額

96,362千円

(内訳)

〈定額助成（新たな取組へのチャレンジ）〉

令和4年度採択団体：26,686千円

令和5年度採択団体：45,274千円

〈定額助成〉

令和6年度採択団体：21,423千円

〈実績連動型助成（既存の取組のレベルアップ）〉

令和5年度採択団体：2,979千円

◆令和4年度定額助成（新たな取組へのチャレンジ）採択事業一覧

事業区分	法人名	事業名
妊娠、出産、 育児期	一般社団法人 はじめのいーっぱ	「制度のはざま」にいる親子が一步踏み出すための、 子育て支援シェアリングサービス。
多世代交流	特定非営利活動法人 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク	WAKUWAKUおせっかえる活動～地域がつながる 「おせっかいの循環」の仕組みづくり～
	特定非営利活動法人 dattochi home	あそび場だっとち事業
	特定非営利活動法人 読み聞かせネットワークヒッポ	本でつながる！本で笑顔に生きる！子育て応援プロ ジェクト～すべての子どもたちのために
病気や 障害等	NPO法人 エゴノキクラブ	小児がんの子どものリーダーシップ育成事業
学齢期の 子供	NPO法人 プログラミング教育研究所	学習支援団体に対するプログラミング教室開催サ ポートとプログラミングコンテストの実施
	特定非営利活動法人 日本セクシュアルマイノリティ協会	子どもへの継続的な啓発を行うための教職員向け ツールの開発と体制構築
若者支援	特定非営利活動法人 One step音楽スタジオ	生き甲斐作りを探しながら、地域であたりまえに楽 しく生きるための自立支援事業

◆令和5年度定額助成（新たな取組へのチャレンジ）採択事業一覧

事業区分	法人名	事業名
妊娠、出産、 育児期	公益社団法人 東京都助産師会	パパ向け伴走型支援～「育休、取って良かった！」 を目指して～
多世代交流	一般社団法人 TOKYO PLAY	とうきょうご近所みちあそびプロジェクト
	特定非営利活動法人 Chance For All	あそび場100か所構想！～すべてのこどもたちが、 自分の意思でアクセスできる自由なあそび場作り～
病気や 障害等	特定非営利活動法人 膠原病・リウマチ・血管炎サポート ネットワーク	子どもの未来を切り拓く～膠原病移行期の親子並行 交流プログラム
	特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち	障害児による創造的体験の場づくりと施設間交流に よるネットワーク形成
	特定非営利活動法人 つばめの会	保健師および療育保育支援担当者に向けた偏食少食児 への支援対応法の研修
	特定非営利活動法人 渋谷なかよしぐるーぷ	暮らしに困難さを抱えた子どもたちの居場所活動か ら地域、人とのつながりをつむぐプロジェクト
社会的養護	特定非営利活動法人 町田フレンズサポート	移動駄菓子屋「ともだちひろば号」買い物体験事業

学齢期の 子供	特定非営利活動法人 キッズドア	在日外国人との異文化交流プロジェクト 「English Drive Well-Being」
	特定非営利活動法人 子育て・子育て支援タグボート	防災体験学習「たき火の学校」事業
	一般社団法人 ANDMAMACO	すべての子どもが素晴らしい体験教育を受けられる 社会に
	特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン	子どものウェルビーイング「小学校向け教材開発と 授業実施の仕組みづくり」

◆令和6年度定額助成採択事業一覧

事業区分	法人名	事業名
妊娠、出産、 育児期	公益財団法人 社会教育協会	自分や相手を大切にすること？ はじめてみよう包括的性教育
	特定非営利活動法人 ちいきむすび	妊娠から子育て期の親や子どもへの食事支援と調理 方法指導と安心相談窓口事業
多世代交流	特定非営利活動法人 バディチーム	居場所型との連携による家庭訪問型食支援等の協働 実践
	特定非営利活動法人 あなたのSOGIE	大人の孤立も子どもの孤立もうまないための連携づ くり～いろんな人たちのフリースクール～
	特定非営利活動法人 BOON	未来のソーシャルデザイナーを育てる ～ボランティア社会に向けた取組～
	一般社団法人 おおたくりエティブタウンセンター	多世代交流、子どもたちの居場所機能を併せ持つチャ レンジスペースの運営「オープンらぼプロジェクト」
学齢期の 子供	特定非営利活動法人 日本教育再興連盟	ギフテッド傾向があり学校に馴染みづらい中高生に 向けた居場所づくりと学びの支援活動
	社会福祉法人 清遊の家	個性や多様性が尊重され、安心して過ごせる居場所 づくり（就学児童対象）
	特定非営利活動法人 ヒューマンケア	地域で子育て・親育ち事業「あるものを活かす」 ～できる人が・できるときに・できることを～ （不登校児の親子支援、シニアの生きがいの創出）
	特定非営利活動法人 ケンパ・ラーニング・コミュニティ協会	インクルーシブカフェ（こどもの居場所事業）
	特定非営利活動法人 3keys	地域支援では漏れやすい虐待・孤食の子どもたちへ の食事支援
若者支援	一般社団法人 希望への道	非行・犯罪に関する悩みを抱える子ども・若者のた めの緊急保護、および包括的相談支援
	一般社団法人 プレイキッズシアター	不登校児、学校に行き渋りの子どもたちの為の自己 肯定感を育む表現ワークショップ

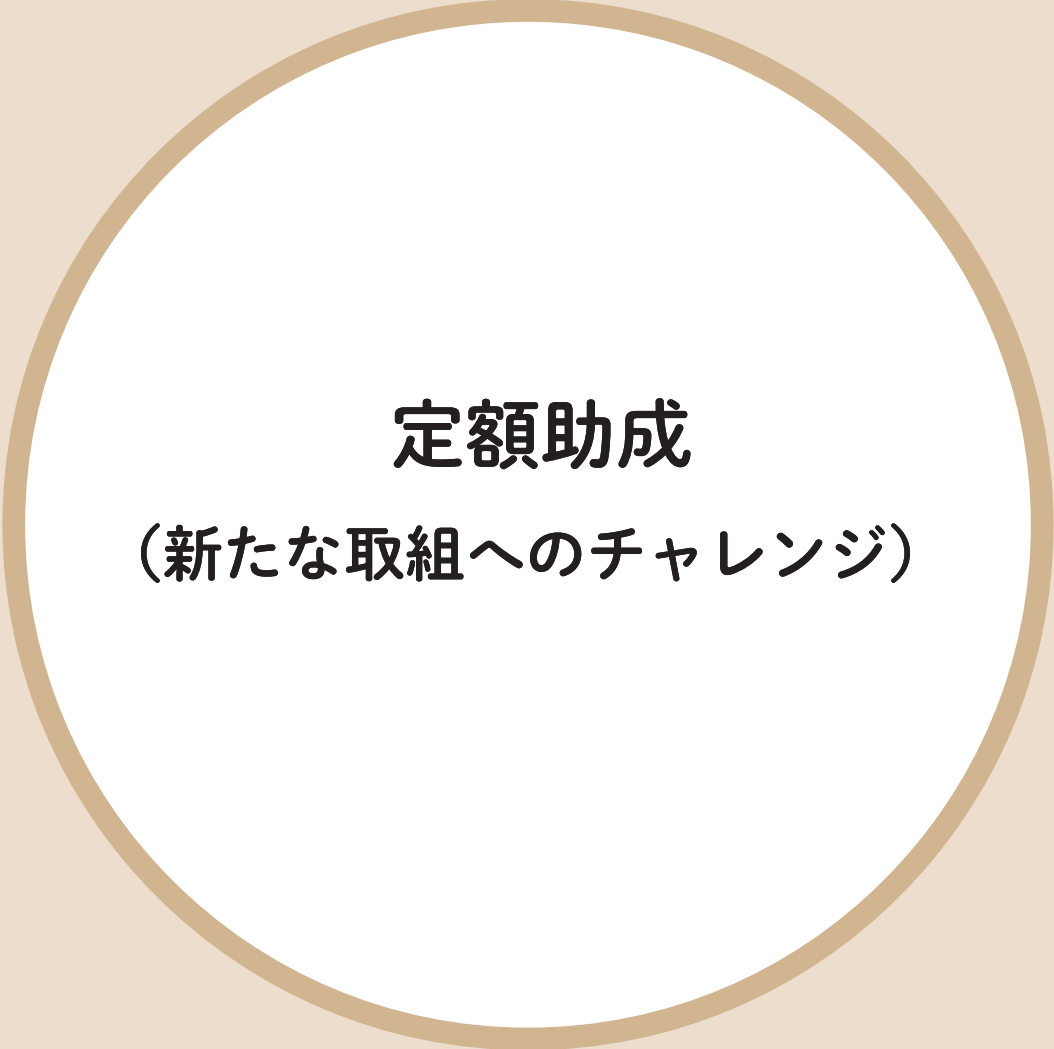
◆令和5年度実績連動型助成（既存の取組のレベルアップ）採択事業一覧

事業区分	法人名	事業名
学齢期の 子供	特定非営利活動法人 いけぶくろ大明	こどもタウン・nobitek 起業・経営体験プログラム

3

助成対象事業 成果報告書

本報告書は、令和6年度助成対象となった34事業について
令和6年度の実施状況や成果などを各団体が報告するものです。



定額助成

(新たな取組へのチャレンジ)

01 一般社団法人 はじめのいっぽ



所在地：東京都東大和市狭山1-853-37 URL：https://hajimenoippo.life/

「制度のはざま」にいる親子が一步踏み出すための、子育て支援シェアリングサービス。



ミニ学校説明会&個別相談会

実施期間

令和4年10月1日～令和7年3月31日

助成額

令和4年度：	4,049,000円
令和5年度：	1,960,000円
令和6年度：	1,860,000円
合 計：	7,869,000円

(建物改修費、備品等購入費、ホームページ開設費、報償費、旅費、消耗品費、印刷製本費、役務費、使用料・賃借料、委託費)

事業概要・事業内容

【事業概要】

- 主として多摩地域で、認定を受けていない発達障害児や行政サービスの適用基準外などで、支援を必要としながらもなかなか受けることができない親子を対象に、人とつながりを持つことにより、それぞれが抱える課題をともに解決する。
- 当法人の有資格者や支援スタッフも、様々な困難を乗り越えてきた「制度のはざま」の親たちである。本事業では、好きなことや得意なことを活かして、支援者も利用者も、ともに成長に向けて一步踏み出す機会と場所を提供する。

【事業内容】

- 言語相談サロン
療育施設が少なく、待機期間が非常に長い（平均8か月）多摩地域で「グレーゾーンの発達障害」などのため、医療機関などの支援をなかなか受られない子どもを対象に、支援につながるまでの一定期間、自費にて気軽に発達相談・療育（特に言語・コミュニケーションの支援）を受けられる場所とサービスを提供する。

- 個別療育（言語発達・読み書き困難の支援）
- 小集団療育（やりとり・集団生活療育）
状況に応じて、関係機関につなぐ

○福祉リフォーム

行政サービスや専門業者が少ない知的障害や身体障害の子どもを家庭を対象に、住宅相談サービスを提供する。ホームページに施行事例を挙げ、広く福祉リフォームの普及を目指す。

- 住宅リフォーム相談（身体・知的・発達）
- 福祉リフォーム等の助成金申請の相談

○交流会、アート教室など

学校などの様々な社会生活に困難を抱える親子が、情報共有などのために、気軽に集える様々な活動の場を提供する。

- 不登校の悩みを抱える親の交流会
- 就学相談についての情報交換
- 学習・生活などの情報交換
- アート教室（糸掛けアート）
- 発達特性に応じた学習支援

○起業支援、事業継続支援など

子育て支援に協力する、またはその事業化に興味を持つ人を対象に、創業や活動改善を支援する。

成果目標・事業計画

【成果目標】

- 当団体の活動基盤固め
- 活動拠点の実現
- 言語相談サロン
 - 実施日数、相談件数、療育回数、利用者実人数(延べ人数)
 - 令和5年度
 - 80日、30件、320回、30名(延べ70名)
 - 令和6年度
 - 90日、50件、360回、40名(延べ100名)
- 福祉リフォーム
 - 個別住宅相談：月1～2回
 - ・令和5年度 相談2件程度
 - ・令和6年度 相談7件程度
 そのうち80%を施行斡旋につなげる
 - 普及のための広報活動：3か月に1回程度
 - ・講習会など 3年間で3～7回
 - ・建設業組合、特別支援学校などに調査、普及活動を実施
 - 実際の新規施工事例などをホームページに常時公開
- 活動の周期性
 - 3年間で180回開催もしくは参加人数延べ360名

【事業計画】

- 令和4年10～12月
 - 言語相談サロンの内装工事
- 令和5年1～2月
 - 事業の準備、ホームページ開設、チラシ作成・配布
- 令和5年3～5月
 - 支援会員(利用者)募集
- 令和5年4月～
 - 言語相談サロン『はらっぱ』開始(毎週水・土曜日)
- 令和5年5月～
 - 住宅リフォーム相談(適宜)
 - アート教室開業(隔週木曜日)
 - 不登校等支援ママカフェオープン
 - 起業支援(適宜)

実施状況・成果

【実施状況】

- 障害児住宅相談事業
 - 主にホームページからの問合せ相談10件のうち、自宅訪問6件。3件はリフォーム工事につながった。
 - 医療的ケア児を支援する世田谷区内のイベントに出展し、住宅相談会を実施した。(1/26)

○交流会・ワークショップ事業

- 糸掛けアートなどのワークショップ
 - ・通信制サポート校(6/18)
 - ・不登校児親の会(9/19)
 - ・グリーフケアの集い(11/9)
 - ・医療的ケア児とその家族(1/26)
 - ・児童養護施設(3/22)
- 不登校児親の交流会
 - ・都立高校内不登校親の会(6/21)
 - ・不登校支援に取り組む都内高校のミニ学校説明会『第2弾☆高校進路勉強会』(7/28)
 - ・不登校親の会『おしゃべりカフェ』(9/4、10/14、12/7)
 - ・不登校児の保護者向け講演会『不登校を考える・学校に行きたくないと言われた時にできること』(2/22)

【成果】

- 不登校だった子どもがイベントに登壇したことで、自分の経験が同じ問題を抱える親子の励ましになると実感でき、子どもの自信につながった。
- 交流会をきっかけに参加者同士がつながり、保護者や子ども自身が専門家による相談や学習支援につながった。

課題と対応

- イベントの企画や運営を、過去に同じ問題を乗り越えた子どもや保護者に依頼しているため、自身の抱える問題を思い出して不安な気持ちにならないような配慮が必要である。イベントを企画する際は「どこまでやりたいか」「どんなことはしないか」を十分に話し合って実施した。

団体にとっての効果

- 東大和市外の近隣市からイベントに参加された方がいるほか、市外の学校、企業、団体からの協力や講演依頼を受け、活動地域が拡大した。
- イベントの広報協力を依頼する過程で中学校の校長や副校長とつながり、保護者側の要望や学校側の想いなどを情報交換できた。
- 東大和市の教育委員会から後援を得たことで、東大和市に対して問題提起や支援要請ができた。
- 塾や飲食店にチラシを置くことで、より多くの方に地域の子育てや不登校に関する情報を提供できるようになった。
- イベントの報告冊子を配布することで、スクールカウンセラーなどの専門職に不登校に悩む子どもたちの想いを伝えることができた。

02 特定非営利活動法人

豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク



認定NPO法人

豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク

所在地：東京都豊島区池袋本町1-28-1サンスプレnderキタイケ 102 URL：https://toshimawakuwaku.com/

WAKUWAKUおせっかえる活動～地域がつながる「おせっかいの循環」の仕組みづくり～



おせっかえるミーティング

実施期間

令和4年10月1日～令和7年3月31日

助成額

令和4年度：	648,000円
令和5年度：	3,735,000円
令和6年度：	4,457,000円
合 計：	8,840,000円
(賃金、報償費、旅費、消耗品費、印刷製本費、役務費、使用料・賃借料)	

事業概要・事業内容

【事業概要】

- 当法人は、地域のおせっかいな住民とともに、困窮している子育て世帯を支援してきた。これまで支援（おせっかい）を受けてきた当事者からの、自分たちも支援をお返しする「おせっかえる」（=ピアサポーター）になりたいという声を受け、おせっかいな地域住民とピアサポーターによる新しい支援のかたちをつくり、地域の共助の輪を広げる仕組みを構築する。
- 地域とつながることで困難を切り抜けてきた元当事者が「おせっかえる」として、現在孤立と困難を抱えている当事者に寄り添うことで、貧困の連鎖や地域からの孤立を防ぐ。
- 「おせっかえる」の活動から当事者のニーズを拾い上げ、新たな支援メニューを構築する。

【事業内容】

- 対象：主にWAKUWAKUの活動を利用されていた子ども、親
- ピアサポーターボランティア（以下、おせっかえる）の育成
 - おせっかえる募集
 - おせっかえる基礎研修
 - おせっかえる登録（随時）

- 当事者および支援者のためのセーフガーディング基準とプライバシー保護基準の作成
- おせっかえると当事者のマッチング、事務局のバックアップ・フォロー体制の構築
- おせっかえる活動例
 - 一人で学校や役所に提出する書類を作成することが困難な人の作成・同行サポート
 - ひとり親の方がけがや病気で動くのが困難な場合の家事サポート
 - 外国ルーツ世帯で日本語が困難な親、子どもへの通訳、必要な支援のコーディネート
 - おせっかえる活動の報告会と地域住民へ向けた啓発活動

成果目標・事業計画

【成果目標】

- 事業効果
おせっかえるが困難を抱えた家庭に寄り添うことで、当事者の隠れたニーズを拾い上げることができる。おせっかえるが当事者のデリケートな心情、状況を代弁し、地域住民と交流することで、支援者の理解が深まり、地域資源が充実していく。

○成果目標

●おせっかえる基礎研修

年間開講日、登録者数（実人数）、支援利用者数（延べ人数）

令和4年度：4日、30名、20名

令和5年度：12日、60名、150名

令和6年度：12日、120名、300名

●利用者アンケート、ニーズのデータ集計による活動レポートの作成（毎年度末ホームページ公表）

●地域住民へ向けたセミナー、交流会の開催、意見交換による支援メニューの作成

開催月、おせっかえる人数（実人数）、地域住民数（延べ人数）

令和4年度：3月、6名、20名

令和5年度：9・3月、15名、60名

令和6年度：7・11・3月、30名、100名

【事業計画】

○令和4年10～12月

●実施体制の構築、運営シミュレーション

●セーフガーディング・プライバシー基準作成

○令和4年11月～

おせっかえる募集開始

○令和4年12月～

おせっかえる基礎研修実施（1回/月）

○令和5年1月～

おせっかえるによる支援開始（随時）

○令和5年3月、令和6年3月、7月、11月

地域住民向けセミナー開催

○令和5年9月

おせっかえると地域住民の交流会

○令和7年3月

新しい支援メニューの作成、発表

実施状況・成果

【実施状況】

○おせっかえる基礎研修

●実施4回、登録者数7名

●登録者数：延べ98名（当日レクチャー含む）

○おせっかえる活動の実施（延べ支援利用者2,325名）

●法人が実施する事業へのボランティア参加

（フードサポート3回/年、学習支援1回/週、こども食堂3か所5回/月、WAKUWAKUホーム随時）

●都営住宅申込などの書類作成サポート（4回）

●おせっかえる発案のボランティア活動

WAKUWAKUテーマカフェ（2回）

おさんぽGOMIひろい（6回）

おせっかえるマルシェ（2回）

おせっかえるキャリアセミナー（1回）

○その他の開催イベントなど

●おせっかえる交流会（1回）

●おせっかえる企画ミーティング（7回）

●おせっかえる報告会（3/28）

【成果】

- 活動を通してボランティア参加へのハードルが下がり、法人の支援活動以外にも積極的に参加するおせっかえるが増えた。
- 大きなイベント開催を通しておせっかえるの認知度が向上し、地域住民との交流を深めた。また、おせっかえる同士もつながる機会となった。
- 交流会では様々な立場の方とおせっかえる活動の意義について考え、意見交換することができた。
- Instagramアカウントを作成したことで、これまでの活動の見える化ができた。

課題と対応

- おせっかえるが日常的にボランティア参加できる仕組みを作りたい。他団体の活動を紹介するほか、地域住民のアイデアや関心を形にできるようサポートしていく。
- 新規のおせっかえる掘り起こしが課題。これまで関係のあった受益者へのアプローチなど対応を検討していく。

団体にとっての効果

- おせっかえる活動の企画ミーティングを定期的に行い、頻繁に顔を合わせることで距離が縮まり、信頼関係を築くことができた。
- 子ども支援に関心のある大学生から「ホームページを見て感銘を受けた」と実習依頼の申し出があり3か月にわたり活動に関わっていただいた。